

## 宮崎銀行・宮崎太陽銀行との協力

平成 28 年度業界研究セミナー講師派遣 (宮崎銀行)

本学が実施した業界研究セミナーに、行員の講師を派遣してもらった。

- (1) 実 施 日 平成 28 年 12 月 20 日 (火)
- (2) 参加者数 32 名

平成 28 年度学生企画による業界研究セミナー (宮崎太陽銀行)

本学の学生地方銀行の業界研究セミナーとして、企画内容を考え企業に提案しました。

- (1) 実 施 日 平成 29 年 1 月 26 日 (木)
- (2) 参加者数 18 名

平成 28 年度インターンシップへの参加 (宮崎銀行)

※ 公募

- \* 夏期インターンシップ 9 名
- \* 冬期インターンシップ 8 名

平成 28 年度インターンシップへの参加 (みやぎん経済研究所)

- (1) 実 施 日 平成 28 年 8 月 29 日(月)～ 9 月 2 日(金)
- (2) 参加者数 1 名

## 宮崎商工会議所との連携協力

### 1 みやざき観光・文化検定

宮崎商工会議所が主催して実施した「みやざき観光・文化検定」に対して、次のような連携協力を行った。

- ・試験会場として学内施設を提供（平成 28 年 12 月 18 日実施）

### 2 日商簿記検定

日商簿記検定の試験会場として、学内施設の提供を行った。

- ・第 143 回検定 実施日：平成 28 年 6 月 12 日

### 3 ビジネスマネジャー検定

ビジネスマネジャー検定の試験会場として、学内施設の提供を行った。

- ・第 3 回検定 実施日：平成 28 年 7 月 17 日

## 宮崎日日新聞社との連携協力

本学では、学生が時事問題や地域の課題について関心を高めるため、新聞を活用した講義（※）を設け、宮日からは、その講義に、記者などを講師として派遣していただくこととなっております。

※平成28年度後期「時事問題ガイド」（主に1年生対象科目）

平成28年9月30日～平成29年1月20日 15回講義を実施

2016年(平成28年)10月1日(土)

宮崎日日新聞社提供

## 宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

## 新聞を読む

2016年(平成28年)10月8日(土)

宮崎日日新聞社提供

## 宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

國際問題

2016年(平成28年)10月15日(土)

宮崎日日新聞社提供

## 宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

医療・福祉

2016年(平成28年)10月22日(土)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

宮崎と気仙沼

宮日と考える

## 宮崎の明日

～公立大時事問題講義から

○4○

2011年3月11日、東日本大震災が発生した。この様子を本県の読者はどう伝えるか。私たち、被災地を幅広く紹介するより、一つの町に絞った方が分かりやすいのではないかと判断した。選んだのはカツオ漁を通じて交流のある戸高 大輔(とだか・だい) 漁の水揚げ量は日本一。漁船は北上するカツオの群れを追つて港を駆けめぐらし、気仙沼には毎年6~12月に滞在する。この間、気仙沼は漁師たちにとって生活の拠点にもなり、本県では、漁師たちが募金次長、総務部次長などを経て現職。宮崎市出身。47歳。

宮崎と気仙沼

# カツオ漁通じ深い縁

記者が再び気仙沼を訪れた。高台に建物が建ち始め、外見は復興のシンボルにしてようど歩き。水揚げ場をかさ上げし、餌や燃料を調達する作業を怠らずに進む。漁師たちは、この間、気仙沼は漁師たちにとって生活の拠点にもなり、本県では、漁師たちが募金活動を行ったり、県や日南市

る。それだけに、震災で気仙沼がどうなったのか。関係者は気が気ではなかった。協所属の船が、全国で最も早く震災後の気仙沼でカツオの犠牲者は千人超、漁港は95%以上機会を失った。しかし、関係者は落ち込む間もなく前を向いた。3ヶ月後が始まる

3年三原穂菜美さん(22)  
宮崎が日本一のカツオの水揚げ量だということも初めて知った。この年は震災に見舞われたにもかかわらず、気仙沼は生鮮カツオの水揚げ量日本一を達成。最も貢献したのは本県の漁師たちだった。

震災から5年たち、本紙の【5年草本菜々子さん(23)  
災害が起きた時にばかり自分が行きがらになってしまつが、(被災地だけではなく)それぞれの地域でまだ復興に向けて努力している方がいることをあらためて知った。現地でプランティアをするなど、自分なりにできると探そうと思った。

【3年横山結里さん(19)  
仙沼がカツオの水揚げ日本一になったのにば、宮崎の船が多く貢献したというのは、県民としてとても誇らしいことだと思った。

【4年中島邦雄さん(23)  
日本大震災が起こった東北地方と宮崎では関わりが少ないと思っていたが、実際に起ると予想されていて、津波の被害の可能性を考えた。いつか気仙沼に行ってみたい。

(21日の講義から)

2016年(平成28年)11月5日(土)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

政務活動費

**宮崎の明日**

宮日と考える

公立大時事問題講義から

○ 5 ○

議会事務局が厳しくチェックするなど、支出の目的・内容に不正が働きづらい仕組みはある。ただ悪事を働くことはそもそも議員の資質にあるのだが、議員活動に必要な費用として支給されるのが政務活動費だ。

地方議員の給与とは別に、ない視察費を計上するなど不正な使い道をしたときれ、または後払いという声もある。

政務活動費

り8万円が支給されている。議会事務局が厳しくチェックするなど、支出の目的・内容に不正が働きづらい仕組みはある。ただ悪事を働くことはそもそも議員の資質にあるのだが、議員活動に必要な費用として支給されるのが政務活動費だ。

調査研究や視察、広報、資料購入などに使える。政務費を巡っては富山市議の不正使用が問題になつた。白紙の領収書を用いて、実際には行つてい

川路 善彦 (かわじ・よし)

現職。富崎市出身。43歳。

部長、報道部記者などを経て

終的には12人が辞職。5年間で自民、民進党の会派は計3300万円もの不正があった。

300万円もの不正があつた。

本県や富崎市ではどうか。

996年入社。東諸支県議は会派分として月20万円、個人分として月20万円の支給。市議は会派に対して一人当たり現金がない議員は視察に行け

議員は問題を改めたり、要望を行政に訴え、実現するよう働き掛けることが仕事。政費を廃止すれば必要なものは自分で買ってこないといけない。後払い制だと手持ちの現金がない議員は視察に行け

議会は人口減少や厳しい地方財政などから定員削減などに働き掛けることが仕事。政費を廃止すれば必要なものは自分で買ってこないといけない。後払い制だと手持ちの現金がない議員は視察に行け

議員は問題を改めたり、要望を行政に訴え、実現するよう働き掛けられることが多い。政費を廃止すれば必要なものは自分で買ってこないといけない。後払い制だと手持ちの現金がない議員は視察に行け

【1年 安藤百恵さん(18)】

【2年 植畠彩花さん(18)】

【3年 岩崎惣一郎さん(21)】

【4年 橋本楓さん(21)】

学生の感想

政務活動費の後払いや減額には賛成だったが、今回の講義は違ったが、今回の講義がいるのだと感じた。無駄をなくすのは大切だが、きちんと活動している人の分まで削つてはいけないので、調査すべきだと感じた。

本来私たちの生活をより良くするためのお金が不正に使われるのは本意。問題が起きた後の対処として、政務活動費の情報開示などをしているが、問題が起きた後では遅く、県民、市民が不安にならない対策をあらかじめしてほしい。

政務活動費は必要。不正に利用された場合にどうするか、対応を考へる必要がある。

【3年 岩崎惣一郎さん(21)】

(21) 政務活動費はたくさん

の問題をほらんでいる。少な

くすれば不正行為が増えて政

治活動を維持することも困難

になる。市民オンブズマン

や、市民の関心、地域のつな

がりの深いメディアによる權

力の監視が大切だ。

(4日の講義から)

2016年(平成28年)11月12日(土)

宮崎日日新聞社提供

## 宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

地域経済

2016年(平成28年)11月19日(土)

宮崎日日新聞社提供

宮日と考える宮崎の明日～宮崎公立大学時事問題講義

県立図書館、美術館



杉田 亨一 (すぎた・きよいち)  
文部省文化部記者。  
2000年入社。報道部員。  
延岡支局などを経て  
現職。高鍋町出身。41歳。

## 宮崎の明日

○7○

公立大時事問題講義から

育つていらないなどの課題が次々と浮き彫りになった。

県民の声を受け、県は15度から資料整備費を削減前の水準に戻した。さらに「日本的一の読書」を掲げ、遠隔地への配送サービスを強化するなど改善を進めている。

## 県立図書館、美術館

からの異動で館に配属される力や人脈を持ち始めた頃に学校に再び異動となる。学芸員の公募は20年以上も行われておらず、学芸員を志す若者は県の順位でみても27位から42位まである。

公立図書館は、地方分権の時代に、人材育成などを通じて地域の底力を上げていく

### 学生の感想

【4年横山未来さん(23)】

役割を持った施設だと分かった。県全体の大きな存在について、読書員・宮崎を目指していけるといい。

【2年川越愛未さん(20)】

【3年岩崎一慶さん(21)】

自治体の財政難に伴い、図書館、美術館など公立の文化施設の運営は全国的に厳しさを増している。本県でも財政難が直撃し、2014年度には県立図書館(宮崎市)が図書を収集する資料整備費が前年度より約1400万円少ない約2700万円に大幅カット

## 財政難が運営を直撃

位まで後退したことが分かります。これまでの機能が果たせなくなっている「学習環境が悪化する」とも言える「学習環境が悪化する」などと県民の危機感が高まっています。削減問題を機に、県立の加え、アロの学芸員を育てる政難の中でも、地域を元気に手に入れることができない本や雑誌、新聞を蓄積し、未来を存続させることは大切だ。

本が宮崎市以外で十分に活用されていない、専門の司書が本県特有の課題もある。学校を賣で考えたい。

県立美術館は管理運営費の削減努力が限界に達し、企われている。地域活性化の起因として機能する公立美術館も次々と出てきている。財だけの施設ではなく、今しかけの施設ではない。この非合理的な心の動きや問い合わせに答える。図書館や美術館を存続させることは大切だ。

(18日の講義から)